



「大島紬」本場 奄美大島を訪ね、泥染体験の中でも特別に染織体験をしました。

小日向さん・当店の着物

—着物や帯も豊富な種類がずらりと並んでいますね。おすすめの着物はありますか？

小日向さん・はい。着物は値段が高くて、着付けも大変とハードルが高いイメージを持つ方が多いと思うんです。だから、気軽に当店に立ち寄ってもらえるように和柄のハンカチや足袋風の靴下等の和雑貨も数多く取り揃えています。

小日向さん・着物をご購入いただいた方はもちろん

—こだわりの商品ばかりですわ。ところで、着付け方は教えてもらえますか？

小日向さん・着物の肌色や雰囲気合うものを選んでいただきたいですね。最近のおすすめは、「大島紬」。私が奄美大島へ行き、染色作業等を体験して仕入れたものです。ぜひ見に来てください。

小日向さん・着物をご購入いただいた方はもちろん

—こだわりの商品ばかりですわ。ところで、着付け方は教えてもらえますか？

小日向さん・当店は小京都と呼ばれる風情あるまちにあります。だから、着物を着てまちを歩いてももう等、もっと多くの方に着物に親んでもらえる機会を作っていきたいですね。それから以前、下条川ダム（加茂市下条）の桜を染料にして着物を作ったことがあるんです。山形県に「白鷹紬」という有名な織物があります。加茂の自然を活かして何かできないかと、そちらの織物屋さんコラボ

—初心者でも気軽に着物を染めようですね！最後に今後の目標や挑戦したいことがありましたら教えてください。

ですが、実は以前からワンコインで教える着物・ゆかたの着付け教室を行っています。お時間等はお客様に合わせて、ぜひお声掛けください。

特選呉服 こひなた

住所:加茂市穀町9-2
TEL:0256(52)0737
営業:9時~19時
定休日:毎月6・16・26日



—ありがとうございます。レイションしたもので、お客様にとっても好評だったので、現在、第2弾を考えています。

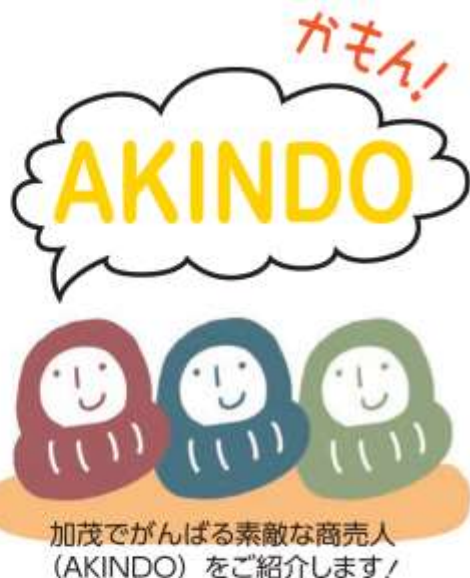


今回の AKINDO

特選呉服 こひなた

小日向 正弥さん(34歳)

趣味:フットサル、サッカー、ランニング



加茂でがんばる素敵な商売人 (AKINDO) をご紹介します!

—和服がとてもしゃべって、スーツ姿はちょっと想像が付きませんが、百貨店での経験が、今の店づくりに生かされているんですね。

—お店を手伝うようになって、どれくらいになりますか？

小日向さん・今年で9年経ちました。大学を卒業した後は、東京都内の百貨店で3年間販売員として働いていました。でも家業を継ぎたいと思い加茂に戻って来たんです。今は仕事柄、毎日私服姿ですが、当時はスーツを着て接客をしていました。思い出すと懐かしいです。

—お店を手伝うようになって、どれくらいになりますか？

明治44年創業、穀町の老舗呉服店「特選呉服こひなた」。父の後を継ぐ若き五代目の小日向正弥さんにお話を伺いました。

—思わず手に取りたくなるディスプレイですね。着物だけでなく、いろんな商品があるそうですね。

小日向さん・ありがとうございます。販売員をしていた頃に自然と身に付いた接客術は今も大変役に立っています。それに、商品の上手なディスプレイ方法や見せ方も覚えられました。店頭や店内には、私なりのこだわりで商品を置いていきたいです。ゆっくりとご覧いただきたいです。



種類豊富に和雑貨を取り揃えております/ちょっとした贈り物にいかがですか。